



# JA いしかり

2018

3月号

Vol.348

2P - 3P

**道外市場視察研修レポート**

9P

連載

“還暦おやじ”の新人農業者手帳

平成27年度新規就農者 ゆうさ ひろふみ 遊佐宏文さん



# 道外市場視察研修レポート

2月13日、16日にかけて道外市場4社へ視察研修を実施し、青果課の佐藤次郎前課長と若本貴之新課長が各地を訪問しました。今回の目的は昨年のお礼と担当者変更のご挨拶、もちろんメイトは各品目の市場ニーズ調査で、昨年の状況を踏まえた産地の情報、今年の作付動向などについて情報交換を行いました。



【左】杉本部長、【右】立花次長

## 丸果石川中央青果株式会社

所在地：〒920-0024  
石川県金沢市西念4丁目7番1号  
TEL：076-262-3151（代表）  
創立：昭和41年3月  
資本金：1億3,000万円

【販売品目】  
ブロッコリー、ミニトマト、大根、  
サヤエンドウ、スナップエンドウ、  
人参、長芋、ごぼう、スイートコーン



【丸果石川中央青果株式会社】  
ブロッコリーを中心に多数の品目を出荷している市場です。訪問時は、近年例を見ない記録的な日本海側の大雪で非常に大変な時にも関わらず、松本社長をはじめ、新保部長、杉本部長（大根、人参担当）、立花次長（ブロッコリー担当）にご対応いただきました。中でも「今年も行くよ。」と頼もしい一言をくれた杉本部長は何度も石狩市まで足を運んでくれ当JAを知り尽くしている方です。杉本部長が直接見た産地としての石狩市の現状をバイヤーや仲卸にも伝えてもらいながら、有利販売を行うためにニーズに応えた商品提供を進めることが必要と感じました。また、当JAのブロッコリーを買ってくれている仲卸の担当者とお話ができ、「品質が良い、鮮度も。氷が沢山入っている。」など生の声も聞くことができました。

今回、新たな取り組みとして石狩ブランドをPRするために『JAいしかりフェア』を9月に開催するという案が出たことが何よりの収穫となりました。是非実現して有利販売に繋げて行きたいと思えます。

## 高松青果株式会社

所在地：〒760-0012  
香川県高松市瀬戸内町40-12  
高松中央卸売市場内  
TEL：087-862-6111  
設立：昭和41年10月  
資本金：5,000万円

【販売品目】  
サヤエンドウ、スナップエンドウ



▲佐藤課長代理

【高松青果株式会社】  
サヤエンドウを中心に出荷している市場です。当日は増田部長、佐藤課長代理（サヤエンドウ担当）にご対応いただきました。「数量を増やしてほしい。特にスナップエンドウの数量を増やしてほしい。」と要望がありました。香川県と言えば、うどん県と呼ばれるくらい讃岐うどんが有名です。うどんのお供の天ぷらにスナップエンドウの天ぷらも入っているようで、大手量販店はもちろん意外なところでも消費されていました。讃岐うどんを食べるときは是非とも天ぷらセットを注文してみました。



【福岡大同青果株式会社】

平成28年2月に福岡市内の3市場が統合し建物も移転したばかりの最先端の低温設備を備えた市場です。訪問した際は各品目の競りが随所で行われており仲買人の多さと活気を感じました。競りの方法は、見本を各品目ローラーで流して見る固定競りと、競り人が異動して競る移動競りの2種類が有り、移動競りは仲買人が手板と呼ばれる板にチョークで値段を書き一番高い額を書いた人が競り落とす方式です。また、鹿児島産の桜島大根が市場の入り口に飾られていました。本物は初めて見ましたが、立派な存在感がとても印象深かったです。

お盆対応なども積極的に行っている市場で、今期も予約をいただきました。「大きいブロッコリーがほしい。」との事でしたので、輸送コスト等を見直し検討したいと思います。



【左】桑野係長、【右】勝目係長 ▶

福岡大同青果株式会社

所在地：〒813-0019  
福岡県福岡市東区みなと  
香椎3丁目1番1-204号  
TEL：092-235-8950（代表）  
設立：昭和35年2月20日  
資本金：2億円

【販売品目】  
サヤエンドウ、ブロッコリー、  
スナップエンドウ、いんげん

▼【左手前】馬詰（うまづめ）副部長



▼【左】倉田副部長、【右】林社長



徳島青果株式会社

所在地：〒770-0872  
徳島県徳島市北沖洲4-1-38  
徳島市中央卸売市場内  
TEL：088-628-2211（代表）  
設立：昭和19年10月10日  
資本金：1億円

【販売品目】  
ブロッコリー、サヤエンドウ、  
スナップエンドウ、大根、メロン

【徳島青果株式会社】

徳島青果へ訪問した時間帯は、さつまいもの競りが真っ最中でした。徳島では甘藷（かんしょ）とさつまいもの別名で呼ばれており、鳴門特産の鳴門金時も沢山出荷されています。また、北海道ではあまり見ない大きなイチゴが沢山目に付きました。

徳島青果はここ数年で当JAの販売品目が増えている注目の市場です。当日は林社長をはじめ山田常務、倉田副部長（ブロッコリー担当）、馬詰副部長（サヤエンドウ担当）にご対応いただきました。情報交換の中で「夏場は石狩産を使うと品物が良いので他の産地は使えなくなる。」「ブロッコリーは今年の倍の1億円を販売したい。」とありがたい言葉をいただき、当JAとしても、この信頼に応える努力をしなければならないと思いました。また、ミニトマトにも興味があるようでした。

まとめ

各市場共に、夏場の石狩産野菜に対する期待が大きく、量を増やしてほしいのは本音として有るが、何よりも品質が安定している石狩産が良いんですとの声を多くいただきました。

訪問中に担当者は電話、メールで取引先との連絡を何回も取っており、毎日のやりとりからの情報収集が有利販売に繋がり、取引先のニーズに定める商品が自然と分かるようになると言っていました。JA側も同様で積極的に市場とのコミュニケーションを図って信頼関係を構築し、常にアンテナを張りながら準備する必要があると。市場担当者との情報交換は電話対応がほとんどですが、今回のように顔を見て直接話す機会はとても貴重でした。

今後も更にPRを続けながら各品目を一つの石狩ブランドとして売り込み、販売力強化に努めていきます。



# 学んだ！笑った！！楽しかった！！

## ～平成29年度 JA後志・石狩地区女性部研修会～



2月1～2日、定山溪ビューホテルで平成29年度JA後志・石狩地区女性部研修会が開催され、当JA女性部からは川崎寿子部長をはじめ役員8名が参加し、総勢170名が集いました。

1日目は『女性や子どもに優しい！日本型食生活の魅力!!』の演題で札幌保健医療大学の荒川義人教授による講演が行われました。中でも「粒納豆よりひき割り納豆の方がビタミンKが多い!」「血液をサラサラにする薬を飲んでいる人は絶対に納豆を食べてはダメ!」というお話では質問が殺到し、参加者は大変興味深く聴き入っていました。

懇親会のカラオケでは飛び入り参加で伊藤佐智子さんが天童よしみの「夜明け」を、似鳥初枝さんが大月みや子の「愛にゆれて」を熱唱し会場を盛り上げていました。続いて、各地区部長による替え歌などが行われ、アトラクションでは、「北海道踊り」を各地区から代表として部長と事務局が参加して、仮装で面白おかしく踊り大いに会場を沸かせ楽しく親睦を深めることが出来ました。

2日目は、『家の光』の記事を活用したミニモップ作りが行われ、参加者それぞれの個性溢れる作品が出来上がり和気あいあいとした楽しい時間を過ごしました。





## 1年間よろしくお祈いします!

## ～農事組合長会議開催～

2



2月7日、茨戸ガ  
ーデンで平成30年度  
第1回農事組合長会  
議を開催しました。  
中村武史代表理事組  
合長の開会挨拶の  
後、来賓の石狩市企  
画経済部産業振興担  
当の百井宏己部長よ  
りご祝辞を頂き、事  
務局よりJAいしか  
りの主要財務の推移  
説明と地区別懇談会  
日程等について説明  
しました。

会議後の懇親会で  
は各農事組合長と役  
職員が懇親を深め有  
意義なひとときを過  
ごしました。



## なるほど! そういうことか!! やってみよう!!!

## ～新規就農者向け簿記講習～

3



2月19～21日、新規就農者・研修生を対象と  
した「農業簿記講座」が開催され4名が受講し  
ました。

この講座は、石狩市農業総合支援センターが  
「新規就農支援プログラム」の一環として平成  
26年度より行っている事業です。石狩農業改良  
普及センター石狩北部支所の西原専門普及指導  
員を講師としてお迎えし、簿記の基礎から決算  
処理までの一連を解説して頂き、例題を解くな  
どして理解を深めました。

初めて簿記を習う人にも理解しやすい内容構  
成となっており、パソコンで複式簿記を行うこ  
とにより青色申告が簡単に出来、経営状態を把  
握し改善に役立てられるということで、参加者  
は「以前はわからなかったことが、少しずつで  
すが理解できたと思います。」と今年の営農に  
意欲を燃やしていました。



もうすぐ

# 入組一年を振り返って… そしてこれから…



2月8日、平成29年度採用の職員に、  
一年を振り返って語っていただきました。



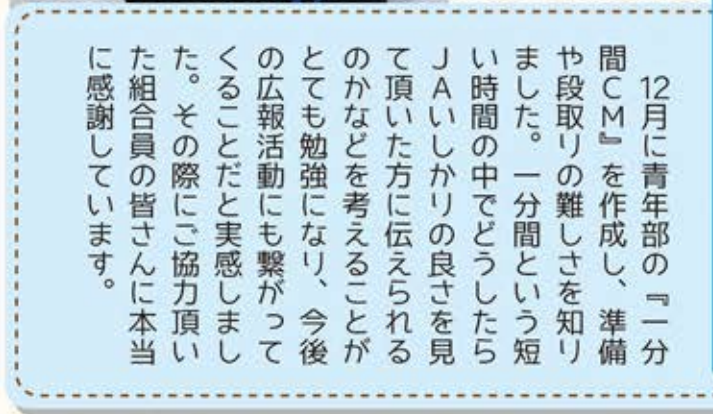
金融共済部 共済課 共済係  
(花畔支店)

永岡 千明 (ながおか ちあき)

Q JA職員を実感した  
仕事について

昨年の8月に石狩まるごとフェスタで野菜の売り子をした際に、初めてお客様に直接石狩の野菜を販売し、とても喜んで頂いたことが印象に残っています。

普段は共済担当なので石狩の野菜に触れ合う機会が少なかったのですが、石狩の野菜って美味しいよねと言って頂き、地域の人達と触れ合うこともできて、とても楽しかったです。



営農部 営農課 営農係

寒河江 耕平 (さかわえ こうへい)

Q 印象に残っている  
仕事は何ですか？

12月に青年部の『一分間CM』を作成し、準備や段取りの難しさを知りました。一分間という短い時間の中でどうしたらJAいしかりの良さを見て頂いた方に伝えられるのかなどを考えることがとても勉強になり、今後の広報活動にも繋がってくるのだと実感しました。その際にご協力頂いた組合員の皆さんに本当に感謝しています。

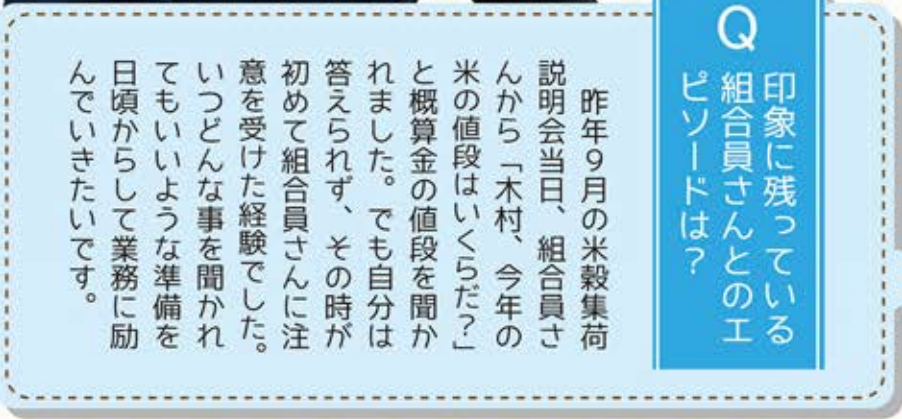




経済部 資材課 資材係  
千田 翔太 (ちた しょうた)

Q 実際に働いてみて  
失敗談はありますか？

入組当初は地図を見ながら配達の際に、本来届けるお宅ではなくお隣に配達してしまったり、違う品物を届けてしまったり…。数量の間違いや組合員さんの名前を間違えることもありました。今は同じ失敗を繰り返さないように、また失敗を経験にして色々な仕事を早く任せてもらえるように日々取り組んでいきたいと思っています。



Q 印象に残っている  
組合員さんとのエピソードは？

昨年9月の米穀集荷説明会当日、組合員さんから「木村、今年の米の値段はいくらだ？」と概算金の値段を聞かれました。でも自分は答えられず、その時が初めて組合員さんに注意を受けた経験でした。いつどんな事を聞かれてもいような準備を日頃からして業務に励んでいきたいです。



営農部 米麦課 米麦係  
木村 雄磨 (きむら ゆうま)

Q 上司・先輩に言われて記憶に残っている言葉は？

プロツコリーの受け入れをした際に、自分自身では仕事が完了してホッとしていたところ、喜多係長から「与えられたことだけが仕事じゃない」とのお言葉を頂き、ハツと気付かされました。その後からは指示されたことの一步先を考えて行動するように心掛けています。



営農部 青果課 青果係  
梶 亮太 (かじ りょうた)

Q これからの目標・  
10年後の自分は？

一年目は新しい仕事を覚えることでもいいな部分もあり、基本的に受け身の仕事になっていましたが、二年目以降は知識をしっかりとつけて日々の業務を行うことと、同期と協力して成長していききたいと思っています。  
また、組合員の皆さんから「藤井さんに会うと元気がもらえる」と言ってもらえるように日々笑顔と元気を忘れずに頑張りたいです。  
10年後は、家庭と仕事の両立が出来ていたらいいなと思います。



金融共済部 金融課 金融係  
(花畔支店)  
藤井 友里 (ふじい ゆり)



## 新入職員紹介

金融共済部 共済課 推進係

せのう けんご

瀬能 憲吾

石狩市出身

札幌学院大学卒業

25歳

平成30年2月1日入組

### 特技

安い旅行券を  
探すこと

### 趣味

海外旅行  
野球

### 好きな言葉

ひやくせつふとう

百折不撓

意味：何度失敗しても  
信念を曲げないこと

### 好きな野菜

レタス  
水菜

前職は、旅行会社にて約3年勤務しておりました。海外を中心に旅行をしておりましたので、何か困ったことがあれば聞いて頂ければと思います。前職とは全く違った業種にはなりますが、農協の仕組み、業務を覚え、1日でも早く皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

### 上司から見た瀬能職員のおススメポイント!

石狩市内の地理感覚が抜群!!

人当たりが良く、よく食べ、食が良いので身体が頑丈★

しっかり人の話を聞き、わからない事を的確に質問することができる職員です。



選 暦 お や じ の 帳  
新 人 農 業 者 手 帳

平成27年度新規就農者

遊佐 宏文



一、できない自分の存在を  
痛感

一年中農作業をやるんだと息巻いてみたものの、出荷するためにはまず野菜がしっかりと育つ必要があります。しかしこれがなかなかうまくいきません。また、毎日の収穫と袋詰め、値段貼りで余裕のない日々になってきます。この他、農作業だけではなく農園ユウサン・ファームの立ち上げに必要な新規就農者ならではの各種段取り作業をあわせて行うことになり、うまくいかないことやハブニングがしょっちゅう発生します。

いったん畑にでると目の前にはすべきことが山のようにあり、ある農作業中に必要な道具を取りに行った先で、ふとあれこれとその場で別の作業を始めてしまったり、最初の作業がはたらかしくなるなどは日常茶飯事です。自分が最初に何をやるうとしていたのかを思い出したころには妻があらかた作業を済ませてくれていたことも多々ありました。妻の協力は本当にありがたかったです。感謝・感謝の連続というのが就農二年間の率直な感想です。妻は最強の応援団です。

ある時、大失敗をしました。とれのことの担当職員からスイートコーンを出せないだろうかとの問い合わせの電話があり、その場では「まだ収穫には早いと思う」と回答したものの、ふと、折角だから出してみるかとばかりにそれまでやってきた農作業を中断して、スイートコーンの確認に行くことにしました。そこで、ひとつ試し採りをしてみたのですが、たまたまそれが先端部まで実が入っていたこともあって、なんと：一気に入数本を収穫して、さあ出荷だと意気込んだところ、妻から「まだ実が入っていないんじゃないの？？」と言われ、収穫したものをひと

つづつ、先端をゆっくり開いて確認したところ案の定、白っぽい未熟な実ばかりで、十数本を台無しにしましたので。

「なにやってんだ！俺は：！？」と言いつつそのスイートコーンで自分の頭を思いっきり叩いた反動で、破片が飛び散り、近くにいた妻の頭にも当たりました。大変お粗末な話題で恥ずかしいのですが、毎日を余裕なく過ごしていると、すっかり確認するとう基本がおろそかになるようです。実はこんな失敗が毎日複数回起こっています。思った通りできない自分に対する腹立たしさにさいなまれる日々です。



▲農業者となり初収穫したミニトマト

二、失敗が先生

努力は必ず実る。そう信じて就農一年目の七月に初収穫した赤とオレンジのミニトマトを妻と二人で喜んだのも束の間、大きな失敗が潜んでいました。八月になって、突然ミニトマトの先端枯れが発生したのです。

全く元気なトマトの先端が壊死したようにしぼんでいくのです。更にはそこに灰色カビが発生しはじめました。

支援センターの白澤さんが色々調べて下さったところ、カルシウム不足が原因であることが分かりました。就農地と研修地の土壌条件などが異なること、研修で学んだことだけでは対応できないことが起こる、ということが分かりました。その後カルシウムの付与を工夫し、お陰様で就農二年目には甘くて美味しいミニトマトを出荷できるようになりましたが、この経験以降、私にとって「失敗が先生」となりました。

また、時々身近におられる諸先輩からの助言が私の失敗の原因を浮き彫りにしてくれることもあり非常に助かっています。出荷先の地物市場とれのさとでの一場面。

「スイートコーンの発芽がまばらになって出ないのも結構あるんですよ：」と、毎朝お会いする吉田京子さんに言ったところ、

「あんた、種はいつのを播いたのさ？」と聞かれたので、

「実は、去年買った残りだったんです。」

「あっ、そりゃア：駄目だわ：」と一蹴されたのもそのひとつで、長年の経験に裏付けられた農業者の常識があることを改めて痛感した次第です。

そんなこともあり現在は、何事もやってみて、知って、考えるということを中心に越したことはありません。失敗しないことに越したことはありませんが、案外うまくいっている時の方が記憶にも何も残らないような気がし始めました。単なる負け惜しみです

(平成三十年二月十日記)







## 今月の表紙紹介

### ～ 撮影オフショット ～

今月の表紙は、高岡施設園芸生産組合の組合長の藤岡浩晃さんご夫妻（石狩地区 高岡）です。平成29年産ミニトマトは7月の高温により管理の難しい年となりましたが、全体的には収量が平年並み強となりました。



▲今年で結婚19年目の仲睦まじいお二人。お子さんも中2と小6になり、手が掛からなくなったそう。



▲いつも爽やかで物腰の柔らかい浩晃さん。周りの人がなんだか安心しちゃう笑顔です。



▲奥様の祐美（ひろみ）さんは料理が得意で、食べ方の分からない方のためにチコリに付属するレシピも考案していて流石です。



▲冬場はチコリを出荷しています。また、料理の幅が広がる青ミニトマトの調味料「トマチャ」はとれのさとで好評販売中です。



▲撮影時は-13°Cの凍て付く寒さでしたが、快く撮影に応じてくれました。冬のソナタを感じさせる雰囲気ですね。

## 地物市場とれのさと 定休日変更のお知らせ

地物市場とれのさととは平成30年4月1日から定休日が変わります。

### 夏期営業

第2・4月曜日から ▶ **第2・4水曜日**

### 冬期営業

毎週月曜日から ▶ **毎週水曜日**

に変わります。







Vol.3

石狩地区(北生振)

村上さん  
ご家族

♪ 幸せいっぱい♪

たかひこ  
村上 貴彦さん  
さとみ  
里美さん

素敵なお家族紹介

とうま  
叶真くん (13歳 今春から中2)  
はやと  
颯都くん (10歳 今春から小5)

Q. 出会ったきっかけ

共通の友人がいて高校卒業後に出会い、2004年に結婚し、今年結婚14年目。

Q. 子どもたちの名前の由来

人が集まるような名前にしたくて名付けました。

Q. お子さん達にどんな風に育てて欲しいですか？

自由な子に。好きなことをやってほしい。

Q. 妻、夫に感謝の一言

貴彦さんから里美さんへ♡

『いつも何も言わないでくれてありがとう。』

里美さんから貴彦さんへ♡

『身体に気をつけてね。』

取材エピソード

取材時に叶真くんがハーフパイプですべる動画を見せてもらいましたが、とっても上手でビックリしました。



将来はオリンピック選手も夢じゃない?! テレビで観戦する日を楽しみに待っていますね。



取材日の2日前の大会で見事入賞!!



▲右が颯都くん。表彰台の姿もかっこいいですね。



▲叶真くんはスノーボードが何より大好き。

毎週のように家族揃ってスノーボードに行き、多いときは週に4度山に向かうことも。夏も人工芝でボードをすべり、とにかくアクティブ。

冬場は除雪の仕事で忙しいけれど、帰ってきてから寝ずにそのまま子ども達をスノーボードに連れて行くこともしばしばのとっても優しいパパ。

弟の颯都くんは稲刈りやブロッコリー収穫のお手伝いをしておじいちゃんの洋一さんに喜ばれているそう。

パパの内緒話

除雪の仕事が絶対に無い日はY君と夜な夜なラーメンの山岡家通いをしているとか... (実はママも公認)

パパもママも子ども達がかわいくて仕方なく、特にパパはすぐにチュー♡しちゃうんだとか。でもお兄ちゃんには起きてるときは出来ないから眠っている時にほっぺを奪うそう...おちゃめな仲良しファミリーです。